

科目名	仏教史概説 I C							学期	前期
副題	—				授業方法	講義	担当者	前谷彰	
ナンバリング	M2-02-200	実務経験の有無	無	関連DP	1	単位数	2	他	—

授業の目的と概要

仏教が興起する以前に存在したインドの思想体系の概説を行った上で、仏教がインドにおいてどのような歴史的変容を被りながら展開して行ったかについて理解する。

授業の到達目標

仏教がインドのいかなる思想を背景に誕生し、いかなる歴史的変容を被りながら展開して行ったかについての基本的知識を身につける。

授業計画

1. 導入：仏教が興起する以前のインド
2. バラモン教の思想：ヴェーダの思想的特徴
3. ヴェーダの思想的特徴
4. 古ウパニシャッドの思想①（ブラフマン）
5. 古ウパニシャッドの思想②（梵我一如）
6. 反ヴェーダ思想（六師外道）
7. ジャイナ教の思想
8. 釈尊の誕生から成道までの歴史概観
9. 初期仏教思想の特徴①（縁起）
10. 初期仏教思想の特徴②（慈悲）
11. 大乘諸派の（全般）
12. 『般若経』の特徴
13. 『法華経』の特徴
14. 『華嚴経』の特徴
15. 初期仏教と大乘の思想的相違点

準備学習(予習・復習)・時間

事後学修として授業で学んだことを復習する（60分）

テキスト

担当者作成の『仏教概要』をコピーして配布する。

参考書・参考資料等

前谷彰（恵紹）著『ブッダのおしえ～真訳スッタニパータ』講談社

学生に対する評価

期末試験（100%）

ルーブリック(目標に準拠した評価)

- (C) 授業目標の必要最低限度の条件を満たしている
- (B) ヴェーダの基本的思想を理解し、ウパニシャッドにおける梵我一如の思想を理解していること。
- (A) (B) の理解を踏まえ、初期仏教における「縁起」の思想を理解していること。
- (S) (B)・(A) の理解に加え、初期仏教と大乘の思想の違いについて、自身の見解を明らかにし得る能力を有していること。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックの方法は授業の中で指示する。

その他